

ハーモニ



(第22号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会
電話:22-2212 FAX:22-3910 メール:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

このたびの東日本大震災により被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。また、震災によりお亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げます。

男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会 会員一同

静岡県は、このほど「第2次静岡県男女共同参画基本計画」を策定しました。

下田市を含む県内の男女共同参画社会実現を目的として、基本的な方向を示す計画です。今回は、この計画内容を紹介いたします。

○計画期間

平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)までの10年間です。

○計画の構成

「全体計画」と「実践計画」の2部構成です。

○「全体計画」について

- ・10年後(平成32年度)を見据えた中長期的方向を示します。
- ・「誰もが個性を活かし能力を発揮できる理想郷“ふじのくに”づくり」を全体目標とします。
- ・「土壌づくり」、「環境づくり」、「社会づくり」の3方針を定め、基本的施策10本と関連する26本の施策の方向を示しております。
- ・「環境づくり」の中に、「生活上様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備」という方針を新設しました。これは、ひとり親家庭、若者、高齢者、外国人などの中で、様々な困難を抱えている人が見受けられており、男女共同参画の視点から、実態に基づく支援が必要になるとの認識により、新設されたものです。
- ・「社会づくり」の中に、「地域の課題解決に向けた実践的な取組の推進」という方針を新設しました。これは、啓発することに留まらず、地域での男女共同参画の確実な浸透を図るため新設されました。

○「実践計画」について

- ・3～4年間で重点的に推進するテーマ(重点テーマ)4本と、実践計画の進捗を管理するための総合的な目標数値と具体的な施策を掲げ、施策ごとの目標数値を設定しております。
- ・「あらゆる分野で女性が活躍できる環境の整備」を、計画当初3年間の実践目標とします。

※実践計画に掲げられた総合的な目標数値

個性と能力を発揮できる機会が男女で差がないと思う人の割合	現状値(20年度)	目標値(25年度)
	18.9%	50%以上

○計画の進め方

- ・計画期間10年間に計画を着実に実践していくため、毎年度、実践計画の取組と進捗状況をPDCAの観点で検証し公表します。

※PDCAとは、Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検)、Act(改善)という英語の頭文字をつなげたもので、この4段階を順次進めていって一周したら最後のAct(改善)を次のPlan(計画)につなげ、施策を円滑に進行させる手法のことです。

- ・全体計画は、社会経済状況の変化を確認しながら、必要に応じ中間見直しを行います。
- ・実践計画の第2期以降(平成26年度以降)の重点テーマ、具体的施策、目標数値については、平成25年度中に、3年間の計画の進捗状況を評価し、検討します。

○「第2次下田市男女共同参画推進プラン」との関連性について

- ・下田市は、平成21年3月、平成21年度(2009年度)から平成30年度(2018年度)までの10年間の計画期間とする「第2次下田市男女共同参画推進プラン」=ひとりひとりが輝くまちを目指して！=を策定しました。今回の県計画の内容は反映されておきませんが、計画の中間年の平成25年に、重点事業と基本計画について点検を行い、必要な見直しを行うと定められておりますので、県計画に基づき見直し作業を進めてまいります。

子育て環境に思うこと、望むこと(第3回)

ハーモニー第19号と第20号で、「子育て環境に思うこと、望むこと」という特集記事を掲載いたしました。その後も男女懇話会にご意見が寄せられましたので、原文のまま紹介します。

○40代の女性の方から

- ・市内に、不審者が出没するといううわさを耳にしました。地域での環境浄化について積極的に取り組んでほしい。
- ・敷根の「子育て支援センター」の利用が少ないように感じます。道路から離れているので、活動内容を目にする機会に恵まれないのではないかと思います。センター利用を促す手立てはないのでしょうか。

・第19号を読ませていただきました。子育てに悩んでいるのは、私だけではないと安堵感が生まれました。同じ立場の人たちと、情報交換や悩み事を相談しあう機会がもっと増えてほしいと思いました。



輝いています！ 下田小学校PTA会長 岩本ゆかりさん

「ハーモニー」は、「きらり輝いています！」というコーナーで、社会の第一線で活躍している女性を紹介しております。

今回は、4月から下田小学校で初めての女性PTA会長に就任された、岩本ゆかりさんを紹介いたします。

岩本さんは、市内大浦地区にお住まいの方で、子供二人の子育てに忙しい毎日をご過ごされております。

会長就任前の3月28日、中央公民館で男女懇話会 伊澤代表が岩本さんからお話を伺いました。

Q: 伊澤代表

PTA会長となることについて、抵抗はありませんでしたか。

A: 岩本さん

「昨年、会長付の副会長を務めさせていただきました。副会長は自分を含めて3名おり、すべて女性の方です。2年前から関係者の方々より副会長を1年間務めた後、会長に就任してほしいとお願いされ、お引き受けしました。子供が小学校6年生となり、卒業する前に学校活動に貢献したいと思っておりました。女性だからとの迷いはありませんでした。大変な仕事かもしれませんが、自分にとっても勉強になると思っております。」

Q: 伊澤代表

ご家族の反応をお聞かせください。

A: 岩本さん

「夫に“事後報告”をしました。4歳の次男がおりますので、「無理ではないか」と言われました。自宅で子どもと過ごす時間が長く、社会とのつながりがほしいと日頃から考えておりましたので、『やってみたい！』という自分の気持ちを素直に伝えました。

夫も自分の気持ちを理解してくれて、それなら協力すると答えてくれました。」

Q: 伊澤代表

会長就任にあたっての抱負をお聞かせください。

A: 岩本さん

「あいさつや祝辞をする機会が増えるので、『自分の言葉で』『心をこめて』やりたいと思います。

入学式の時には次男を預かると申し出られた方がおりまして、安心し、ありがたいと感じました。PTA活動が活発になるように、関係者の方と話し合い、勉強もしていきたいと考えております。」

Q: 伊澤代表

最後に、「男女共同参画社会」についての御意見を伺います。

A: 岩本さん

「『男女共同参画社会』とは、男女が平等に働き、平等に活動して実現するものと思っておりました。この『ハーモニー』を読ませていただいて、男女共同参画社会とは、『一人一人がいきいきと、自分らしく生きていくことができる社会』であること、たとえば仕事をしている方は仕事の中でいきいきと生きること、家庭で子育てしている方は家庭の中でいきいきと生きることとわかりました。

私も出産前は、准看護師として働いていた経験があります。そのときは働くことがとても楽しいと感じておりました。これからは、様々な資格を取得し、積極的に働いていきたいと考えております。男女共同参画社会の実現を、強く望んでいます。」

【取材後記】

岩本さんは、4歳のお子様をひざに抱えながら取材に応じていただきました。自然体でPTA会長職を引き受けられ、「自分らしく、いきいきと生きる」岩本さんの姿勢が伝わりました。小学校6年生の御長男は、取材中お留守番をされていたとのこと。岩本さんのご家族は、2年前に神奈川県から下田に転居されたそうです。神奈川県での子育て経験や子育て環境について、貴重なお話を聞かせていただきました。その内容につきましては、後日あらためて紹介いたします。

ご家族を含めて取材に協力いただき、厚くお礼を申し上げます。

※男女共同参画情報紙「ハーモニー」についてのご意見、ご感想を募集中です。また、ご希望の方には、過去発行された「ハーモニー」(創刊号～第21号)を郵送いたします。

下田市役所 企画財政課 企画調整業務担当 TEL22-2212までご連絡ください。